

## ～ 夢ある未来へのまちづくりを ～



本町は「みどり輝き活気と笑顔あふれるまちふるさと那須」を将来像に定め、平成28年3月に第7次那須町振興計画を策定し、魅力あふれるまちづくりを進めてまいりました。

この間、少子高齢化の進展により町の高齢化率は初めて40パーセントを越えるなど、町政運営を取りまく環境は年々厳しさを増し、取り組むべき課題も増加しております。

近年、町内の東日本大震災及び原発事故による被害や令和元年東日本台風被害の復旧・復興事業も概ね終了し、平穏な生活を取り戻し始めたところでしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による経済活動の制限、それに伴う国内経済の低迷は、町内経済にも甚大な影響を与えています。これもまた私たちが経験したことのない想定外の災害です。

このような状況を踏まえ、那須の未来を創造するための新たな一步となる「第7次那須町振興計画後期基本計画」を策定いたしました。

まず、日本全体の構造的課題でもある人口減少と少子高齢化の現状を真摯に受けとめ、定住（移住）対策と子育て支援対策を重点的かつ効果的に実施し、着実に一歩ずつ進め、特に若年層の定住化を促進してまいります。

さらには、自然環境の保全はもとより、地域経済の活性化、文化振興の推進、教育環境や地域福祉の充実を図り、多世代から“選ばれるまち”の実現に向けて邁進したいと考えております。

いずれの分野におきましても、町史において最も厳しい財政事情のもとでの事業展開になりますが、未来思考と創意工夫により「新たな那須の創生」に取り組み、夢を語り合える、夢ある未来を、町民の皆様と共につくりたい。そして町民が主役のまちづくりを進めたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症を克服し、行政と町民の皆さまが一体となって“夢ある未来へのまちづくり”に取り組んでまいりましょう。

今後も町のさらなる発展に向けご理解ご協力をお願いいたします。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、ご意見やご提案をいただきました多くの町民の皆さま、関係各機関の皆さま、並びに、振興計画策定懇談会、企画審議会の委員の皆さまをはじめ、ご協力をいただきました全ての皆さまに心より感謝申し上げます。

令和3年3月

那須町長 平山幸宏